

## 理学部における入学者選抜方法等の変更について

令和8年3月

大阪大学

令和10年度入学者選抜から、理学部における選抜方法等を次のとおり変更します。

### 記

#### 【変更内容】

- (1) コースの統合
- (2) 学校推薦型選抜の実施
- (3) 帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試の廃止
- (4) アドミッション・ポリシーの変更

#### 【詳細】

##### (1) コースの統合

令和10年度入学者選抜から、理学部生物科学科生物科学コースと理学部生物科学科生命理学コースを廃止し、理学部生物科学科として統合する。

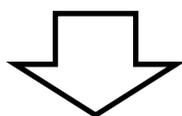
##### (2) 学校推薦型選抜の実施

理学部において実施している「総合型選抜（研究奨励型）」及び「総合型選抜（挑戦型）」に加え、令和10年度入学者選抜より理学部生物科学科において「学校推薦型選抜（Aタイプ）」及び「学校推薦型選抜（Bタイプ）」を実施する。

募集人員は、令和10年度入学者選抜から次のとおり変更する。

○令和9年度入学者選抜まで

学部	学科等	募集人員					
		合計	一般選抜	総合型選抜・学校推薦型選抜			
			前期日程	総合型選抜		学校推薦型選抜	
				研究奨励型	挑戦型		
理学部							
	数学科		47	42		5	
	物理学科		76	66		10	
	化学科		77	69	8		
	生物科学科	生物科学コース	30	26	4		
		生命理学コース	25	22	3		
計		255	225	15	15		



○令和10年度入学者選抜から

学部	学科等	募集人員						
		合計	一般選抜	総合型選抜・学校推薦型選抜				
			前期日程	総合型選抜		学校推薦型選抜		
				研究奨励型	挑戦型	Aタイプ	Bタイプ	
理学部								
	数学科		47	42		5		
	物理学科		76	66		10		
	化学科		77	69	8			
	生物科学科		55	<u>38</u>	<u>5</u>		<u>7</u>	<u>5</u>
	計		255	<u>215</u>	<u>13</u>	15	<u>7</u>	<u>5</u>

実施の詳細は次のとおりとする。

なお、理学部生物科学科における出願に関しては、「学校推薦型選抜（Aタイプ）」、「学校推薦型選抜（Bタイプ）」、「総合型選抜（研究奨励型）」のいずれか1つにのみ出願できる。

## 【理学部】 学校推薦型選抜（Aタイプ、Bタイプ）

### 《求める学生》

理学部と生物科学科のアドミッション・ポリシーで求める学生を選抜する学校推薦型選抜を行います。生物科学科における学問・研究に強い興味を持ち、研究者を目指す人を求めます。（生物科学科のアドミッション・ポリシー（求める学生像）は理学研究科のホームページ（[https://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/admission\\_policy\\_u/#bio](https://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/admission_policy_u/#bio)）を参照してください。

Aタイプでは、数学・物理学的な感性に優れ、将来は生物科学の研究者を目指す人を求めます。

Bタイプでは、論理的、科学的かつ柔軟に考える力を持ち、議論によって互いの考えを発展させることができる、将来は生物科学の研究者を目指す人を求めます。

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和8年度中に卒業した者及び令和9年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了した者及び令和9年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和8年度中に修了した者及び令和9年度中に修了又は修了見込みの者

### 2. 推薦要件

次の全てに該当する者としします。推薦人数に制限はありません。

- (1) 生物科学科における学問・研究に強い興味を持ち、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (2) 将来、研究者になることを希望する者
- (3) 理学部生物科学科が定める令和10年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

### 3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

Aタイプ

学科名	教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
生物科学科	国語	国語	から1
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	
	理科	(物理)と(化学、生物、地学から1)の2	*1
	数学	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2	*2
外国語	英語 (ICプレーヤーを使用する試験を含む)		*2
情報	情報I		

Bタイプ

学科名	教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
生物科学科	国語	国語	から1
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	
	理科	物理、化学、生物、地学から2	*1
	数学	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2	*2
外国語	英語 (ICプレーヤーを使用する試験を含む)		*2
情報	情報I		

#### 【注意事項（Aタイプ、Bタイプ共通）】

\*1：第1解答科目の成績を利用します。

\*2：英語はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算します。

#### 4. 選抜方法

##### (1) 第1次選考

大学入学共通テストの成績及び提出書類により選考を行い、募集人員の約1.5倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。なお、大学入学共通テストの配点は、次のとおりとします。

国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計
100	50	300	300	250	10		1,010

##### (2) 第2次選考

第1次選考合格者に対しAタイプは面接、Bタイプは口頭試問を実施します。理学部及び生物科学科で掲げているアドミッション・ポリシーと照らし合わせて、多面的・総合的に評価します。(生物科学科のアドミッション・ポリシー(求める学生像)は理学部のホームページを参照してください。)

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績(1,010点満点)と、提出書類及びAタイプは面接(190点満点)、Bタイプは口頭試問(190点満点)の結果とを合計(1,200点満点)して行います。

なお、第2次選考における大学入学共通テストの配点は、第1次選考における配点と同じです。

#### 5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和10年2月上旬

試験内容	実施時間
面接(Aタイプ) 口頭試問(Bタイプ)	12:00~18:00

#### 6. 試験場(予定)

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
豊中キャンパス	大阪大学 理学部棟	豊中市待兼山町1-1

#### 7. 提出書類

次の①～③の書類を全員提出してください。

- ① 自己推薦書(志願者が作成)(Web出願システムへ入力)
- ② 推薦書(高等学校等の長が作成)(大阪大学所定様式)
- ③ 調査書

(3) 帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試の廃止

理学部生物科学科生命理学コースで実施している帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試を令和10年度入学者選抜から廃止する。

(4) アドミッション・ポリシーの変更

理学部のアドミッション・ポリシーを、令和10年度入学者選抜から次のとおりとする。

**理 学 部**

**【求める人材像】**

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受けて、理学部では教育目標に定める人材として相応しい、下記のような人を求めています。

- (1) 高等学校等における教育課程を修了し、もしくは同等の能力を身につけている人。
- (2) 幅広い自然科学の基礎知識と応用力に加え、広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝える力を持ち合わせた人。
- (3) 自然科学に知的好奇心を持ち、自ら強く考察して真理を探究・発信することに喜びを感じる人。
- (4) 科学の素養を背景にして、国際社会に幅広く貢献したい人。

**【入学者選抜の基本方針】**

上記の人材を多様な方法で選抜するため、下記の一般選抜・2種類の総合型選抜・2種類の学校推薦型選抜を実施します。これらの入試においては、(1)の高等学校卒業相当の学力を重視しますので、大学入学共通テスト(国語、数学、外国語、理科2科目、地理歴史・公民1科目、情報)を課します。

**【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】**

一般選抜では、より高度な学力の習熟度・応用力を測るため、また、(2)の広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝える力を持ち合わせた人を選抜するために、高度な記述式の数学、理科の個別学力検査を行います。また、(4)の国際社会への貢献に必要な英語の学力を、高度な記述式の試験により評価します。

総合型選抜(研究奨励型)では、(3)の自然科学に対する知的好奇心を有する人を選抜するために、高等学校等での研究活動を重視し、書類審査で活動内容を、また面接試験で研究に対する姿勢を評価します。

総合型選抜(挑戦型)では、書類審査で高等学校等での課外活動から(4)の社会貢献の意欲を評価し、さらに(3)の自ら強く考察して真理を探究・発信することに喜びを感じる人を選抜するために、難易度の高い課題を課した面接を実施します。

学校推薦型選抜は生物科学科のみで実施し、(2)(3)を重視します。数学・物理学的な素養と生物科学に対する興味を併せ持つことを評価するAタイプと、論理的、科学的かつ柔軟に考える力を持ち、議論によって互いの考えを発展させることができる能力を評価するBタイプを実施します。

また、国際科学特別入試では、日本の高等学校の枠組みを離れ、(2)～(4)の能力を有する人を、学力試験と面接試験によって選抜します。

以上